

ツヤネクイハムシ

Donacia nitidior (Nakane)

コウチュウ目ハムシ科

石川県カテゴリー 情報不足

国カテゴリー なし

選定理由

全国的に分布が限られ、開発されやすい環境に生息するため、絶滅するおそれがある。これまでの知見では、県内での分布も限定される。

形態

体長5.0～6.5mm。上翅は金属光沢を帯びた銅色である。脚、特に後腿節が短く、腿節基部は赤褐色。前胸背板は荒い点刻を装い、一部は皺状である。

国内分布

本州（宮城県以西）、佐渡島。

県内分布

小松市から能美市の丘陵部の約7箇所の湿地で確認されている。

生態

水生植物に依存した生活史をおくる。成虫は5～6月に出現し、スゲ科植物の花粉などを食する。幼虫は水中（土中）でスゲ類の根を食べると考えられている。

生息地の条件

平野部から丘陵部にある放棄水田やため池上部の湿地で、スゲ類などの水生植物が生育する日当たりのよい所。

生存の危機

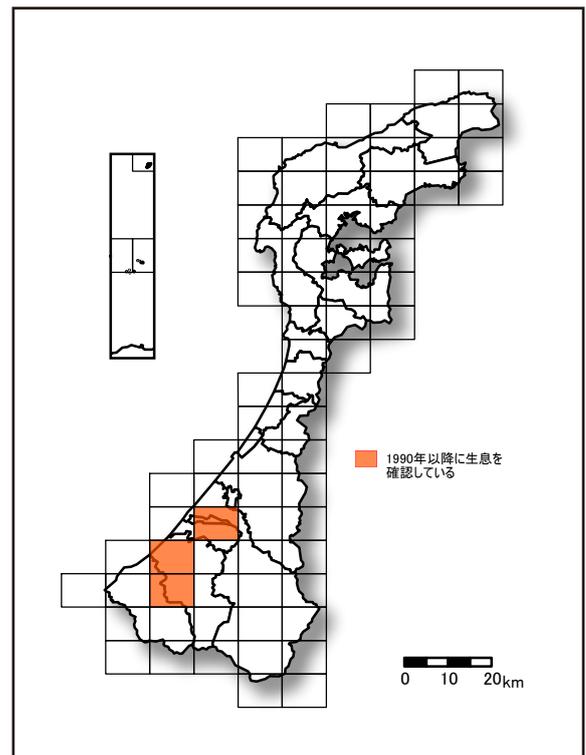
湿地などの環境変化、植生遷移が脅威となる。生息地の開発防止、掘削などによる植生遷移の進行防止が保全上重要である。

参考文献

川瀬英夫 2002. ツヤネクイハムシの採集記録ほか. とっくりばち, (69) : 12-13.
林 成多 2004. 総説・日本のネクイハムシ亜科. ホシザキグリーン財団研究報告, (7) : 29-126.
林 成多 2006. 日本産ネクイハムシ亜科の分布記録 (2) ネクイハムシ属・キイロネクイハムシ属. ホシザキグリーン財団研究報告, (9) : 151-192.



写真提供者:富沢章



県内の分布